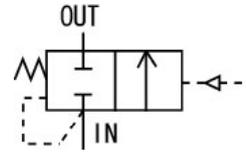


取扱説明書

二方向加圧開型
 空気操作式シリンダバルブ
 型番号：BN-5B21



1. 仕様

呼び口径	10 A	15 A	20 A	25 A	40 A	50 A
配管サイズ	Rc3/8	Rc1/2	Rc3/4	Rc1	Rc1-3/4	Rc2
使用流体	空気・清水・油（50 cst以下）					
使用圧力	0 ~ 1.0 MPa					
操作流体	空気					
操作圧力	0.3 MPa 以上					
耐圧力	1.5 MPa					
周囲温度	-10 ~ 70					
図番	EA00-0011					

2. 構造

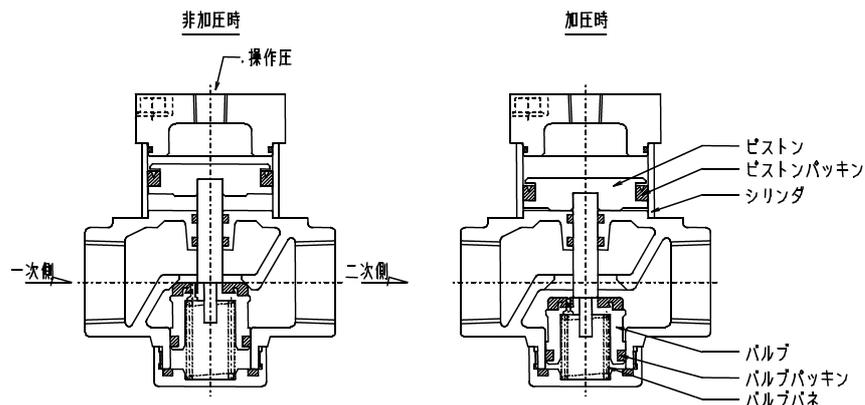
小口径の空気圧操作式二方向ON-OFF弁です。構造が簡単で、駆動部のピストン径を大きくし作動を確実にできるようにしています。また、本弁は逆圧負荷可能型となっており、逆流を防止する構造となっています。

3. 作動

操作空気を加圧していない状態では、一次側圧力はバルブに設けられた小穴を通り背圧の作用をし、バルブバネの反力も加わって弁閉力として働き、弁閉状態を維持しています。

操作空気を加圧すると、操作空気圧がピストンを押し下げバルブが開き、流体は二次側へ流出します。

操作空気圧を排気すると、バルブバネの力によりバルブが閉じ、流体の流れは止まります。



4 . 逆差圧

弁閉時に二次側圧力の方が一次側圧力よりも高い場合の圧力差が0.3 MPa以内ならば逆流は起こりません。

5 . 取扱い

5 - 1 . 取付・配管

取付は直立を原則とします。倒立も差し支えありませんが、横位置は避けてください。

配管は、ボディの矢印通りに流体が流れるように接続してください。配管の前には、管内を十分にフラッシングしてください。また、配管の際には、シールテープなどの異物がバルブ内に入らないようにしてください。

5 - 2 . 保 守

6ヶ月～1年に1度は分解点検し、良好なコンディションの保持をはかってください。

分解掃除の際、部品洗浄をされる時は中性洗剤を用いてください。

シンナーやトリクレンなどの溶剤は使用しないでください。

分解組立時には、良質の鉱物性グリースを摺動部、パッキン、ガスケット部に塗布しておいてください。

6 . 故障の原因と対策

操作空気を加圧しても本弁が作動しない

操作空気圧が低いと弁は開きません。操作圧力を0.3 MPa以上にしてください。

摺動部のゴミなどの異物が噛み込んでいる場合があります。この異物を取り除いてください。

噛み込み損傷がひどい場合には、部品を交換してください。

ボディの排気口より空気漏れがある場合は、ピストンパッキンまたはシリンダの損傷です。部品を交換してください。

操作空気圧を排気しても、本弁が閉じない

バルブバネが折損している場合は、弁閉不十分となります。バルブバネを交換してください。

バルブに設けてある背圧用小穴が目詰まりすると弁閉不能となります。

この目詰まりをなくしてください。

弁閉状態のとき二次側へ流体が漏れ出す

バルブシート部の異物の噛み込みの場合は、異物を取り除いてください。

バルブパッキンの損傷の場合、パッキンを交換してください。